



リスクリングサービスカタログ

ピーシーアシスト株式会社



公式サイト

<https://www.pcassist.co.jp>



テクノプロ・ホールディングス株式会社グループ

■お問い合わせ

〔お電話〕 0120-20-9829(受付:平日9:00~18:00)

〔メール〕 houjin@wincschool.jp

目次

03 会社案内

- 03 企業理念
- 05 研修実績
- 07 会社概要



09 サービスのご紹介

- 09 サービスのご紹介
- 11 人材育成ソリューション「CONN-PATH」
- 15 DX人材育成研修
- 19 IT・プログラミング人材育成研修
- 21 CAD設計研修
- 23 ヒューマンスキル研修
- 24 事務スキル・Office研修
- 25 Web・デザイン研修



29 研修形態

- 29 集合研修・講師派遣
- 30 個別レッスン
- 31 オンライン・eラーニング
- 32 研修スタイル 組み合わせ事例



33 その他

- 33 人材開発支援助成金
- 35 研修事例のご紹介
- 37 企業向け研修のご提案
- 38 お問い合わせ



PURPOSE

存在意義

「もっと学びたくなる学び」で、
変化し続ける社会に適応し
未来をつくる「人」を育てる



ピーシーアシスト株式会社では、変化の速度が加速し続ける現代社会において「技術」と「人」のチカラでイノベーションを生み出し、未来を切り拓ける人材を育成することで、働く人たちを取り巻く環境の価値を高める事を使命と考えています。

その実現のために「もっと学びたくなる学び」を提供し、持続可能な社会の実現に貢献することがPurpose(存在意義)と捉えています。

VISION

私達の未来像

「人」の価値を高めることで「企業」の価値を高め、持続可能な社会の実現に貢献する

MISSION

私達の果たすべき役割

環境の変化に適応できる人材を育てる
「持続的な学び」の提供

VALUE

私達が大切にしている価値観

テクノロジーの
進歩・変化に耐えうる
技術力

学びで得た
技術や知識をもとに
自立自走できる推進力

環境変化を機会と捉え、
イノベーションを
生み出す力

研修実績

テクノプロ・グループ唯一の教育研修専門部署としてエンジニア教育を担っています。
未経験エンジニアやDX推進を担う人材育成を行い、企業の事業成長に人材面で貢献しています。



※2023年7月～2024年6月末時点

研修ご利用企業様

※一部抜粋、敬称略、順不同

- 株式会社NTTデータ
- NTTコミュニケーションズ株式会社
- 株式会社日立製作所
- 株式会社日立ソリューションズ
- 株式会社野村総合研究所
- 株式会社豊田自動織機
- 株式会社博報堂
- 株式会社サイバーエージェント
- 株式会社ドワンゴ
- 株式会社バンダイ
- 株式会社トムス・エンタテインメント
- 株式会社WOWOW
- 株式会社関西テレビハッズ
- ジー・アンド・イー株式会社
- 株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング
- 中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社
- 西日本高速道路ファシリティーズ株式会社
- 阪神高速サービス株式会社
- 株式会社道路計画

- 原子燃料工業株式会社
- 昭和電機株式会社
- アクセンチュア株式会社
- 株式会社名機製作所
- 英進設計工業株式会社
- 株式会社三浦工務店
- 株式会社テクノスマイル
- 株式会社富士防
- 株式会社日立LGデータストレージ
- 新日本製鐵株式会社
- 河西テクノ株式会社
- 大和電建株式会社
- 全日空システム企画株式会社
- アクサス株式会社
- 株式会社新日鉄都市開発
- 株式会社小田急ハウジング
- 三井デザインテック株式会社
- 日産トレーディング株式会社
- 株式会社マックス・ヴァルト研究所

- 株式会社ハルテック
- 北大阪商工会議所
- 独立行政法人工業所有権情報
- 港区スポーツふれあい文化健康財団
- 関東学院大学
- 久慈市雇用開発促進協議会
- 宇都市雇用創造協議会
- JA共済熊本県本部
- 北海道財務局
- 内閣府社団法人奈良工業会
- 一般社団法人全国モーターボート競走施行者協議会

- 株式会社八戸インテリジェントプラザ
- 一般社団法人神奈川県トラック協会
- 財団法人放送大学教育振興会
- 東京板硝子施工組合
- 関東学院大学
- 久慈市雇用開発促進協議会
- 宇都市雇用創造協議会
- JA共済熊本県本部
- 北海道財務局
- 内閣府
- その他多数

PICK UP

アライアンス事業も展開

- ピーシーアシストがコンテンツホルダーとして、営業接点を持つ企業と連携
- 人材企業と共同で官公庁系などのDX人材育成事業に入札

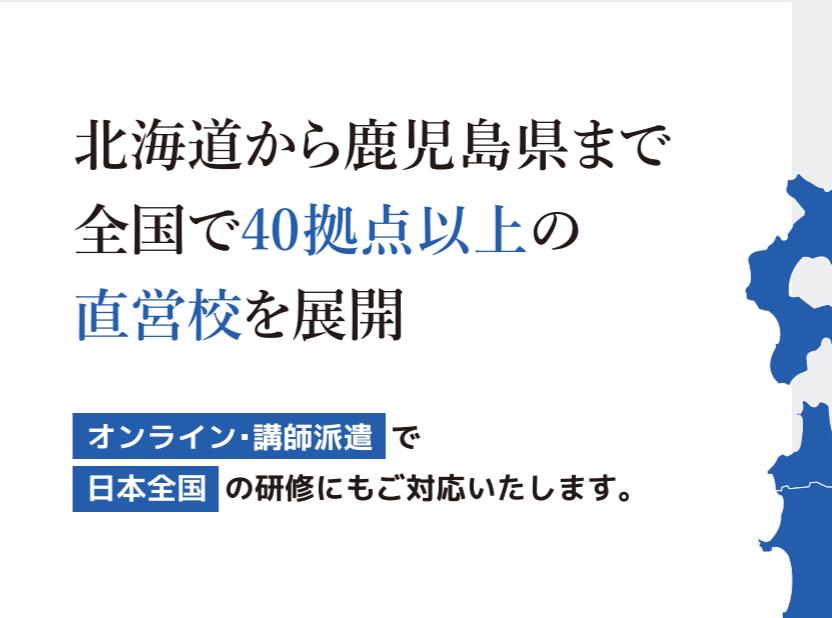




会社概要

社名	ピーシーアシスト株式会社 (テクノプロ・ホールディングス株式会社グループ)
代表者	代表取締役社長 嶋岡 学
本店所在地	〒106-6135 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー35F
東京本部	〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-7-1 松岡セントラルビル3F
京都本部	〒600-8216 京都市下京区烏丸通七条下ル東塩小路町719 京都駅前SKビル4F
設立	平成3年9月
資本金	9,800万円
従業員数・講師数	150名

拠点情報



主な事業・サービス



総合ITスクール事業	法人向け人材育成事業	オンライン実践型ITスクール事業
 個別レッスン形式の授業を中心に、企業で働く人々のキャリアを育てる人材育成サービスを提供。北海道から鹿児島まで、全国展開 & オンラインレッスンも提供。	 法人向けの一社研修を中心に、Winスクールのコンテンツを利用したIT・エンジニア育成からビジネスマインドを醸成する研修まで即戦力を育成します。	 オンラインレッスンを中心にデータサイエンティストやITエンジニアを育成するアウトプット型実践コンテンツを提供。個人だけでなく法人研修も対応しています。
 Winスクール	 Winラーニング	 Python Winner



その他の地域

北海道、宮城県、岡山県、広島県、愛媛県、福岡県、熊本県、鹿児島県に展開

サービスのご紹介

当社では、ビジネススキルの基本からDX人材育成、高度IT人材の育成など、幅広い研修分野をカバーするカリキュラムをご用意しています。貴社の目的に応じた研修プランをご提案します。



人材育成ソリューション 「CONN-PATH」

「CONN-PATH」は企業の成長戦略にもとづく現在と未来を「人材」という視点で可視化して目標達成に向けた道筋をご提案し、研修の企画から実施、評価・効果測定までの過程をワンストップで管理・運用できる人材育成ソリューションシステムです。

// p.11-14



DX人材育成研修

DXリテラシーやIT・デジタルスキルの向上、DXマインドの醸成など、社員全体のDXスキル底上げと、実践的な課題解決能力を育成。貴社のDX戦略に合わせて研修内容を柔軟にカスタマイズ可能。貴社の継続的なDX推進をサポートします。

// p.15-18



IT・プログラミング人材育成研修

Webシステム開発、組込み、AI・データサイエンス、インフラ・クラウド構築等のさまざまなITエンジニア育成コンテンツをご用意。年間2万人以上のエンジニアを育成するカリキュラムで未経験から即戦力で活躍できる人材育成研修をご提供いたします。

// p.19-22



CAD設計研修

主要な2次元・3次元CADソフトに対応し、機械、建築、土木、設備と幅広い分野で活躍できるCAD設計エンジニアを育成できる研修をご提供いたします。

// p.23-24



ヒューマンスキル研修

ITエンジニアやDX推進を担う人材に最適なヒューマン・コンセプチュアルスキル研修をご用意。技術力+人間力を養う研修をご提供いたします。

// p.25-26



事務スキル・Office研修

Office製品の使いこなしから業務を効率化し生産性を高める事務スキルの向上まで、ビジネスパーソンに必須のスキルが習得できる研修をご提供いたします。

// p.27



Web・デザイン研修

デザインに必須のツールからWebサイト構築のノウハウ、動画制作、UI/UXデザインまで幅広くデザイン制作に必要なスキルが身につく研修をご提供いたします。

// p.28

人材の「As is/To be」を定義し最適な人材育成を提供する
人材育成ソリューション

ピーシーアシストでは、企業価値の源泉はそこで働く「人」の成長と切り離せないものと考えています。企業の成長戦略にもとづく現在(As is)と未来(To be)を「人材」という視点で可視化して、目標達成に向けた道筋をご提案するとともに、人材育成の実施においてもワンストップで伴走できるソリューションを提供いたします。

ピーシーアシスト独自の
人材育成ソリューションシステム

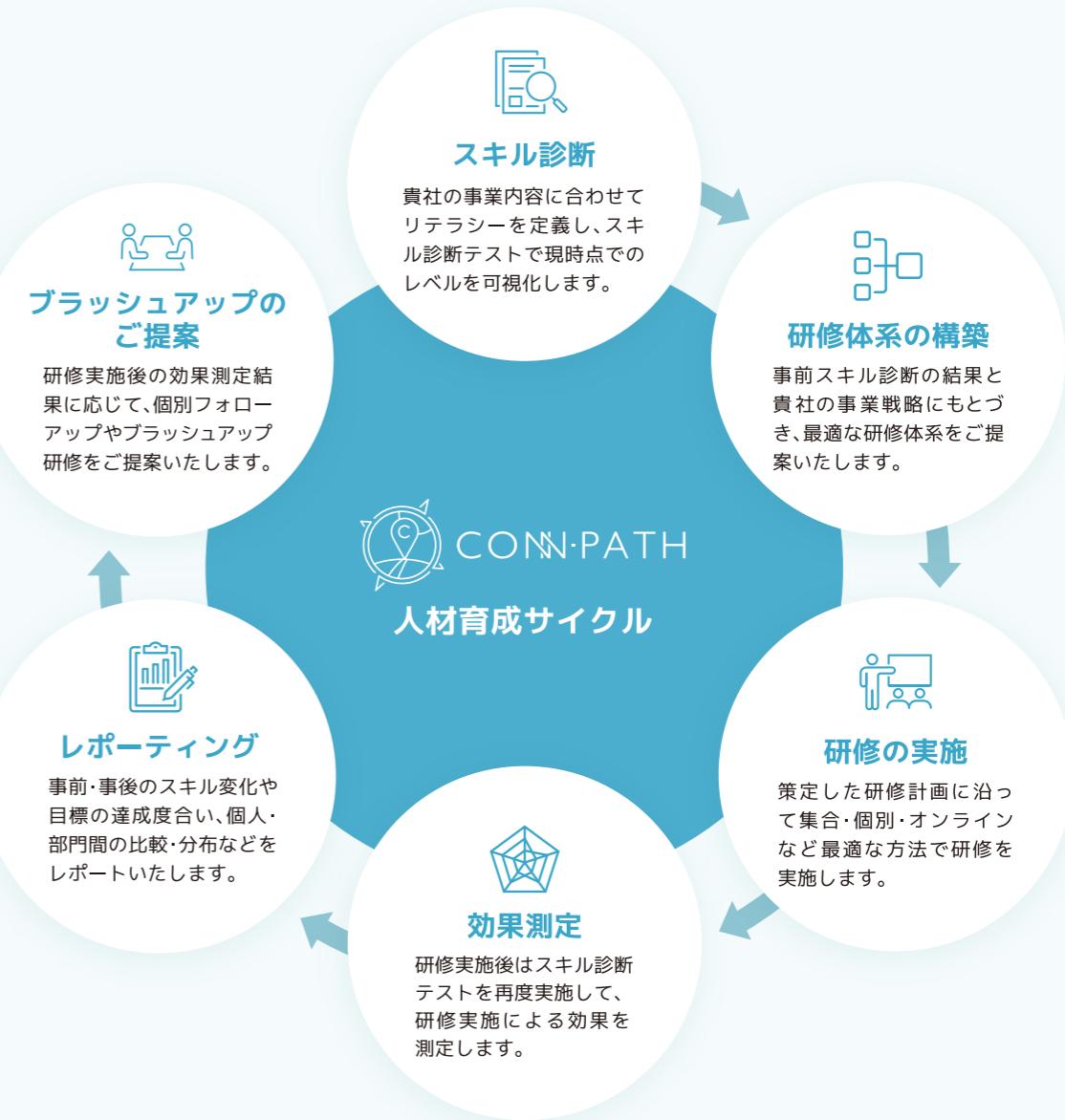


CONN-PATH



事前のスキル診断に基づく研修体系の構築から
研修実施、効果測定までをワンストップで提供いたします

「CONN-PATH(コンパス)」による人材育成サイクルでは、事前のスキル診断結果をもとに、当社独自の人材育成スキルマップに沿った研修体系の構築から対応いたします。実際の研修実施とその効果測定、測定結果に基づいたさらなる育成プランのご提案まで、貴社の成長に寄り添った人材育成ソリューションをワンストップで提供いたします。



貴社専用研修管理ページ

さまざまな研修運用を一元管理できる

「CONN-PATH」では一社毎に専用の研修管理ページをご用意しています。新卒研修や既存社員向けのスキルアップ研修など、さまざまな研修を一元管理でき、研修運用の負担を軽減することができます。



POINT

1 商談時から研修実施後まで、複数の研修の一元管理が可能

サンプル株式会社様 山田 太郎

新着情報

- 2024.10.01 [未定] Re: 見積書が提出されました
- 2024.10.01 [未定] 見積書が提出されました
- 2024.10.01 [未定] Re: 要点カリキュラム書が提出されました
- 2024.10.01 [未定] 要点カリキュラム書が提出されました

新着情報一覧を見る

現在進行中の研修

- Javaエンジニア育成初級研修 (2025年4月14日(月)~2025年5月2日(火) 会場: TKP東京大手町カンファレンスセンター)
- ITリテラシー基礎研修 (2025年4月14日(月)~2025年5月2日(火) 会場: TKP東京大手町カンファレンスセンター)

詳細情報 評価

専用研修管理ページは商談段階でご利用可能です。

商談途中の見積書など各種提案書類の管理から、研修の進捗状況、研修後の効果測定レポートまで、専用ページで一元管理することができます。

2 各研修の進捗や効果測定結果・目標達成度を可視化

サンプル株式会社様 山田 太郎

研修進捗状況

Javaエンジニア育成初級研修

目標達成度

Javaエンジニア育成初級研修

確認テスト

Javaプログラミング確認テスト

各研修の進捗状況や研修ごとに実施する確認テストの結果、研修の目標達成度など、研修に関するさまざまなデータを可視化して管理することができます。

実施した研修の費用対効果を測定することも可能です。

※画面の一部は開発段階のため、実際の製品とは仕様が異なる場合があります。

スキル診断システム

貴社人材の「今」と「未来」が可視化できる

「CONN-PATH」のスキル診断システムでは、受験者個人の評価だけでなく、部署間の比較や貴社全体のスキル分布などが可視化できるレポート機能をご用意しています。受験指示から試験結果の配信、閲覧まですべてオンラインで完結できるシステムのため、試験実施から効果測定にかかる人的コストを軽減することができます。

CHECK 部門・個人ごとに比較ができる

科目別成績(平均・目標比較)

ITリテラシー
プログラミング
データ分析
課題解決
業務効率化

■ 山田 太郎 ■ 平均値 ■ 目標値

個人単位のレポートだけでなく、企業内の各部門間でのレポート比較も可能です。

得点分布(全科目)

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 (点)

講座マッピングシステム

貴社の事業戦略と現在スキルに応じた研修体系を構築

「CONN-PATH」の中心を担う人材育成スキルマップとして、IPAが定義するDX人材育成を目的とした「DXリテラシー標準(DSS-L)」や「DX推進スキル標準(DSS-P)」、高度IT人材の育成を目的とした「ITSS(ITスキル標準)」に準拠した講座体系をご用意。事前のスキル診断結果や貴社の事業戦略をお伺いしたうえで研修の目標設定を行い、最適な研修体系をご提案いたします。

ITSS準拠の「エンジニア育成スキルマップ」

IPA準拠の「DX人材育成スキルマップ」

» 研修のご相談・ご依頼

貴社に合わせた研修プランの作成が可能です。お気軽にご相談ください。





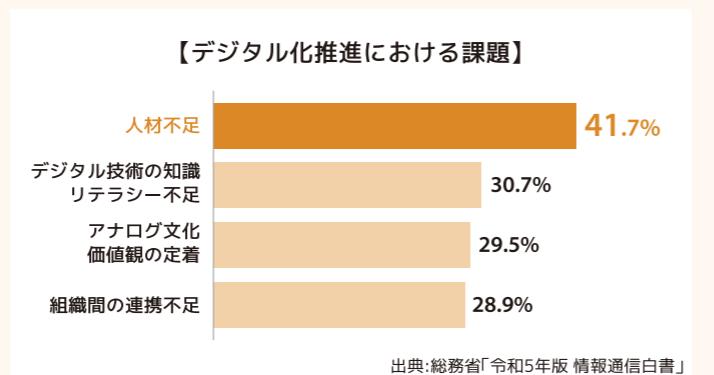
貴社のDXを加速させる人材育成プランをご提案 DX人材育成研修

「社内のDX化をはじめてみたものの、なかなか浸透しない…」という多くの企業様の声を受け、現状把握からDX推進人材の育成、社内全体のDXリテラシーレベルの向上まで、貴社のDX推進を加速するための人材育成を「ワンストップ」で完全サポートいたします。

DX推進が進まない理由とは？

企業におけるDX化を阻む理由の多くに、以下が挙げられます。

- ・DX人材の不足
- ・デジタル技術の知識・リテラシー不足
- ・リテラシー不足に起因するアナログ文化・価値観の定着
- ・組織間の連携不足

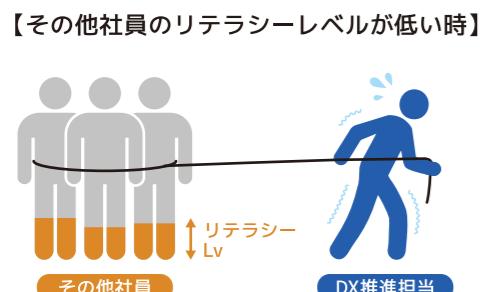


DX推進加速のポイント

DXの推進は一部担当者の能力を高めるだけでは進まず、担当者の負担は増えるばかりです。

経営者を含む全社的なDX・ITリテラシーレベルの向上によって、企業のDX推進を加速することができます。

DX推進担当を含め、全社的なDX・ITリテラシーの定義と人材育成施策がポイント！



DX・ITリテラシーを定義する指標

DX・ITリテラシーを定義する指標の1つとして、IPA(独立行政法人情報処理推進機構)が定めた指針である「デジタルスキル標準」があります。ビジネスパーソン全体とDX推進を担う専門性を持った人材を確保・育成するための指針です。全てのビジネスパーソンに必要な「DXリテラシー標準(DSS-L)」と、DXを推進する人材に必要な「DX推進スキル標準(DSS-P)」の2種類が定義されています。

DXリテラシー標準(DSS-L)

全てのビジネスパーソンが身につけるべき能力・スキルを定義

【産業・職種・部署に関わらず共通】

Why DXの背景	What DXで活用されるデータ・技術	How データ・技術の利活用
<ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化 ・顧客価値の変化 ・競争環境の変化 	<ul style="list-style-type: none"> [データ] <ul style="list-style-type: none"> ・社会におけるデータ ・データを読む・説明する ・データを扱う ・データによって判断する [デジタル技術] <ul style="list-style-type: none"> ・AI ・クラウド ・ハードウェア・ソフトウェア ・ネットワーク 	<ul style="list-style-type: none"> [活用事例・利用方法] <ul style="list-style-type: none"> ・データ・デジタル技術の活用事例 ・ツール利用 [留意点] <ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティ ・モラル ・コンプライアンス

マインド・スタンス デザイン思考/アジャイルな働き方 新たな価値を生み出す基礎としてのマインド・スタンス

・顧客・ユーザーへの共感 ④常識にとらわれない発想 ④反復的なアプローチ ④変化への適応 ④コラボレーション ④柔軟な意思決定 ④事実に基づく判断

DX推進スキル標準(DSS-P)

DXを推進する人材類型の役割や習得すべきスキルを定義

ビジネスアーキテクト

DXの取組みにおいて、ビジネスや業務の変革を通じて実現したいこと(=目的)を設定したうえで、関係者をコーディネートし関係者間の協働関係の構築をリードしながら、目的実現に向けたプロセスの一貫した推進を通じて、目的を実現する人材

デザイナー

ビジネスの視点、顧客・ユーザーの視点等を総合的にとらえ、製品・サービスの方針や開発のプロセスを策定し、それらに沿った製品・サービスのありかたのデザインを担う人材

ソフトウェアエンジニア

DXの推進において、デジタル技術を活用した製品・サービスを提供するためのシステムやソフトウェアの設計・実装・運用を担う人材

【5つの人材類型】



データサイエンティスト

DXの推進において、データを活用した業務変革や新規ビジネスの実現に向け、データを収集・解析する仕組みの設計・実装・運用を担う人材

サイバーセキュリティ

業務プロセスを支えるデジタル環境におけるサイバーセキュリティリスクの影響を抑制する対策を担う人材

多くの企業で
データサイエンティストを
育成しています。

研修実施までの流れ

受講者のスキルを随时可視化しながら、4つのステップで効果的な研修をご提案・サポートいたします。

STEP 1 リテラシー定義

■全社員共通学習項目選定

- ・全社もしくは部署などで共通のリテラシーを定義
- ・IPAスキル標準、他社事例、ご提案などを参考に貴社の社風・方向性などから決定

STEP 2 現状確認・可視化

■スキルチェックテスト

- ・現状の立ち位置を可視化
- ・Webでのスキルチェックテスト実施
- ・ITリテラシー・ビジネスソフト基礎スキル等のスキル把握

STEP 3 研修プラン立案

■研修計画の組み立て

- ・誰に、何を、どうやって研修するかをプランニング
- ・集合研修、セミナー、個別学習、eラーニングを効率よく組み合わせて計画立案

STEP 4 研修実施

■ITリテラシーの向上

- ・研修の実施(集合研修・個別研修・eラーニング・セミナーの組み合わせ)
- ・随時、効果測定をして報告

IPA準拠のスキルテンプレートを活用した

DX人材育成体系

IPAが定義する「DXリテラシー標準(DSS-L)」と「DX推進スキル標準(DSS-P)」に準拠した、人材育成スキルテンプレートをご用意。貴社のDX推進状況に合わせて最適な研修プランをご提案します。

» 研修のご相談・ご依頼

貴社に合わせた研修プランの作成が可能です。お気軽にご相談ください。



全社的なDXリテラシーレベルを高める DXリテラシー標準 (DSS-L) スキルテンプレート

少数のDX推進リーダーの力だけでは社内のDX化を推し進めることはできません。全社的なリテラシーレベルを高めることが必要です。すべてのビジネスパーソンに求められる知識やスキルを体系化し、当社講座をプロットした「DXリテラシー標準(DSS-L)スキルテンプレート」をベースに最適な研修プランをご提案します。



研修プラン例 DXリテラシースキルベーシックプラン

多くの企業事例やご要望をもとに体系化したDXリテラシースキルが習得できる研修プランです。



※上記以外にも貴社の課題やご要望に合わせて最適な研修をご提案いたします。



DX推進リーダーを育成する DX推進スキル (DSS-P) テンプレート (データサイエンティスト)

IPAのDX推進スキル標準(DSS-P)では5種類の人材類型が定義されています。中でも特に今求められているのは「データサイエンティスト」です。

変化の激しい時代に市場や顧客のニーズを把握し、イノベーションを生み出すことができるデータ利活用スキルがDXを推進する大きな鍵と言えます。



研修プラン例 DX推進スキルデータサイエンティスト育成プラン

データサイエンティストを育成するプランです。Excel/BI系とPython/AI系の2体系をご用意しています。





未経験者を自立自走型の即戦力に育成する

IT・プログラミング人材育成研修

IT業界での人材不足が叫ばれる中、未経験者を採用し育成することが必須となっています。当社はテクノプロ・ホールディングスの人材育成部門として培ったノウハウをもとに、未経験者を即戦力として育成する研修を提供しています。

現場の声をフィードバックしたカリキュラム

テクノプロ・ホールディングス株式会社に所属する2万人以上のエンジニアに対して研修を実施。研修後のフィードバックをもとに教材や研修手法をブラッシュアップし、現場が求める即戦力人材が育成できるカリキュラムを構築しています。



業界最大級のITエンジニア研修体系をご用意

さまざまな職種に対応できるように、主要な開発言語や環境を網羅した研修コンテンツをご用意。

貴社の開発案件に合わせて最適な研修プランをご提案いたします。



詳しくは p.21-22 へ

基礎知識から実践的な技術習得まで一気通貫で研修を提供

エンジニア必須の基礎知識の習得から、ハンズオン実習による言語や開発環境構築といった実際の開発現場を想定した実践演習までの研修を、一気通貫で提供いたします。

集合型の研修だけでなく、個別レッスンやeラーニングを組み合わせて、効率のよい最適な研修をご提案いたします。

貴社の希望や状況を丁寧にヒアリングし、最適なプランをご提案！



ITエンジニアに必須の基礎知識を習得

■ 対応する研修形態

eラーニング 集合研修



ハンズオン実習による基礎的な技術スキルを習得

■ 対応する研修形態

個別レッスン 集合研修



実際の開発現場に近い実習を行い実践的なスキルを習得

■ 対応する研修形態

集合研修

研修実施までの流れ

受講者のスキルを随时可視化しながら、4つのステップで効果的な研修をご提案・サポートいたします。

STEP 1 リテラシー定義

■ 全社員共通学習項目選定

- ・全社もしくは部署などで共通のリテラシーを定義
- ・ITスキル標準(ITSS)、他社事例、ご提案などを参考に貴社の社風・方向性などから決定

STEP 2 現状確認・可視化

■ スキルチェックテスト

- ・現状の立ち位置を可視化
- ・Webでのスキルチェックテスト実施
- ・ITリテラシー・ビジネスソフト基礎スキル等のスキル把握

STEP 3 研修プラン立案

■ 研修計画の組み立て

- ・誰に、何を、どうやって研修するかをプランニング
- ・集合研修、セミナー、個別学習、eラーニングを効率よく組み合わせて計画立案

STEP 4 研修実施

■ ITエンジニア研修の実施

- ・研修の実施(集合研修・個別研修・eラーニング・セミナーの組み合わせ)
- ・随時、効果測定をして報告

主要な言語やフレームワークを網羅し、貴社のニーズに最適な研修をご提案いたします。

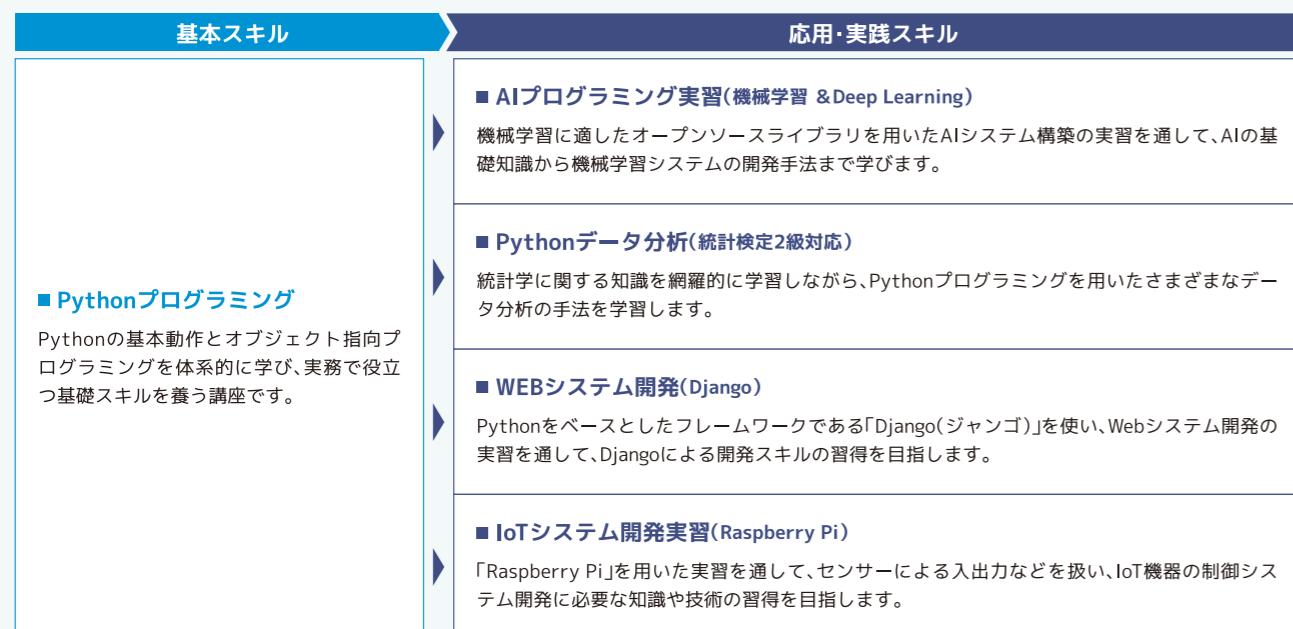
Java・Webシステム開発エンジニア育成体系

Javaの基本文法から、Spring Bootを使ったシステム開発やデータベース構築まで学べる研修プランです。



Python・AI/データサイエンティスト育成体系

Pythonプログラミング、データ分析、AIプログラミング実習を自由に組み合わせて学べる研修プランです。



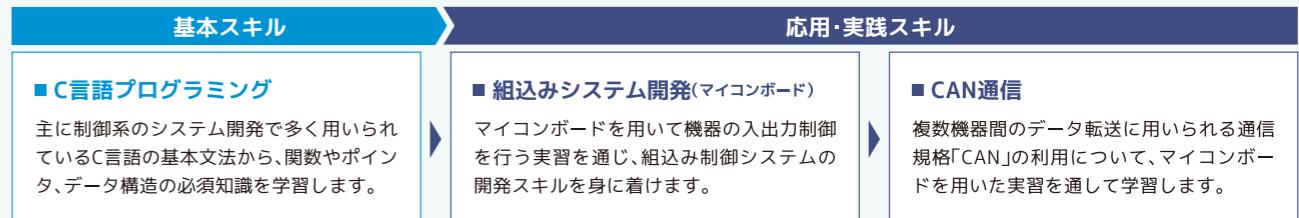
» 研修のご相談・ご依頼

貴社に合わせた研修プランの作成が可能です。お気軽にご相談ください。



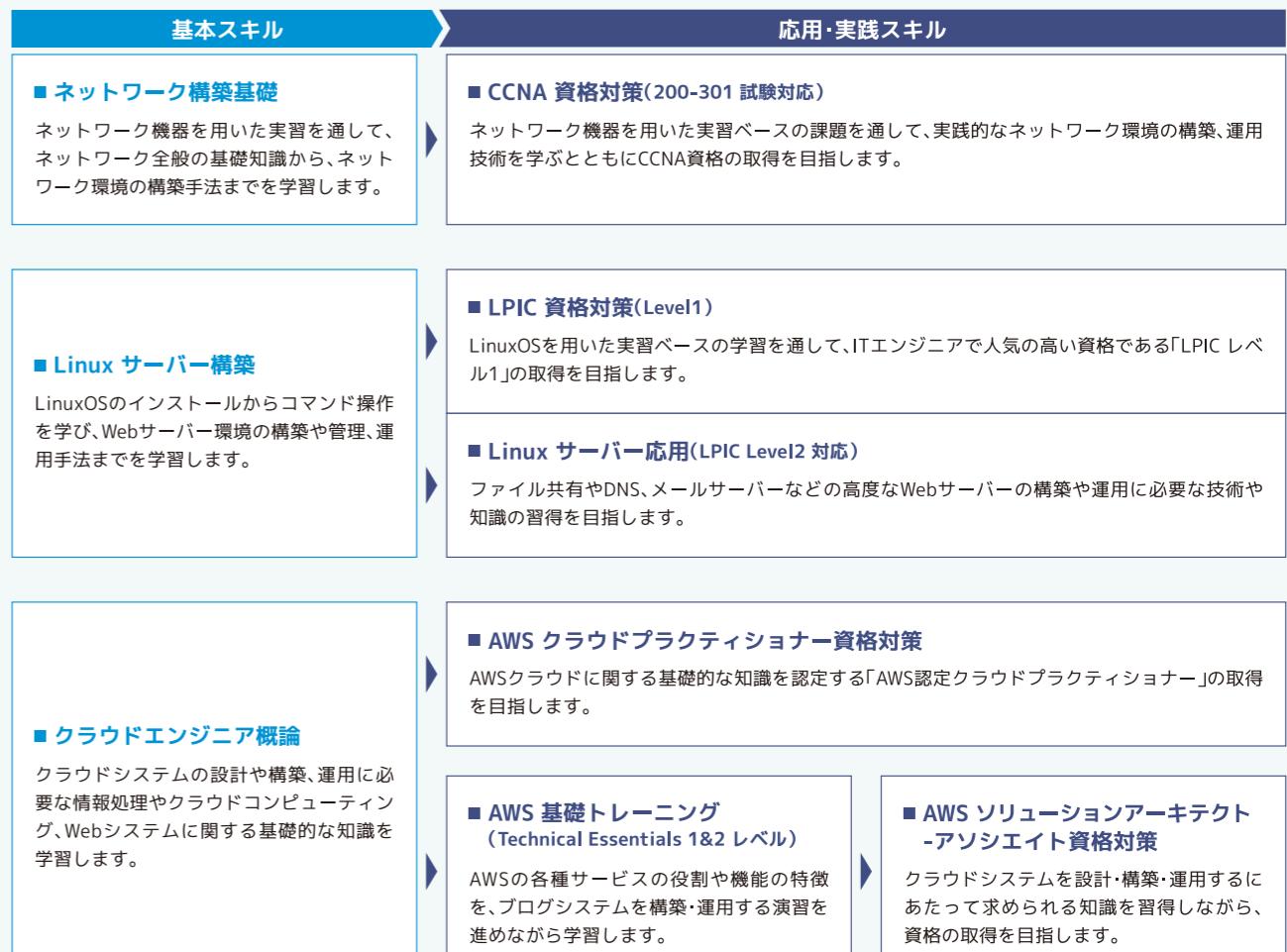
C言語・組込みシステム開発エンジニア育成体系

C言語プログラミング、組込みシステム開発、CAN通信の講座を自由に組み合わせて学べる研修プランです。



インフラエンジニア育成体系

ネットワーク構築の基礎からLinuxサーバー構築や、クラウドエンジニアの基礎からAWSクラウドプラクティショナーやソリューションアーキテクトアソシエイト資格取得を目指す講座まで、必要な講座を組み合わせて学べる研修プランです。





CAD研修30年以上の実績

CAD(機械・建築・設備・土木)設計研修

当社はCAD研修の提供からはじまり、研修提供実績は30年以上あります。法人・個人問わず未経験者から既存社員のスキルアップ研修まで幅広いニーズにお応えするカリキュラムをご用意しております。

主要なCADソフトを網羅、製図の基礎から習得できる

設計業務で用いられる主要なCADソフトのカリキュラムを網羅。また、未経験人材の育成に最適な設計・製図理論を組み合わせた基礎から習得できるカリキュラムもご提案いたします。

	機械CAD	建築・土木・設備CAD
2次元CAD	AutoCAD	AutoCAD Jw_cad
理論学習	機械製図理論 3DCAD概論	建築製図理論 BIM概論
3次元CAD・その他	CATIA SolidWorks NX	Vectorworks Revit CADWe'll Tfas

各分野の特徴

■ 2次元CAD
汎用CADソフトである「AutoCAD」と建築CADシェアNo.1の「Jw_cad」のそれぞれのカリキュラムをご用意。各種作図機能や編集機能を体系的かつ網羅的に習得し、2次元図面を作図・編集するために必要なスキルを習得することができます。

■ 理論学習
機械設計、建築設計のそれぞれで図面を読み解き作図するために必要な製図や設計の基礎知識を網羅的に習得できるカリキュラムをご用意。CADソフトの実習と組み合わせて未経験で採用した人材の育成に最適な研修をご提供します。

■ 3次元CAD
機械、建築設計それぞれで主要な3次元CADソフトに対応したカリキュラムをご用意。3次元モデルの作図、編集からアセンブリ、レンダリング、出力といった3次元CADによる作図に必要なスキルを体系的に習得することができます。

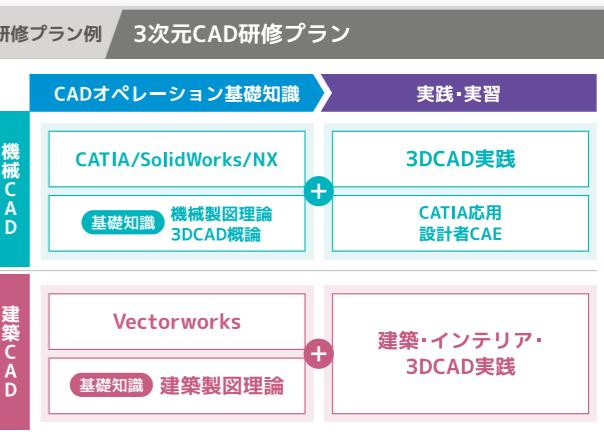
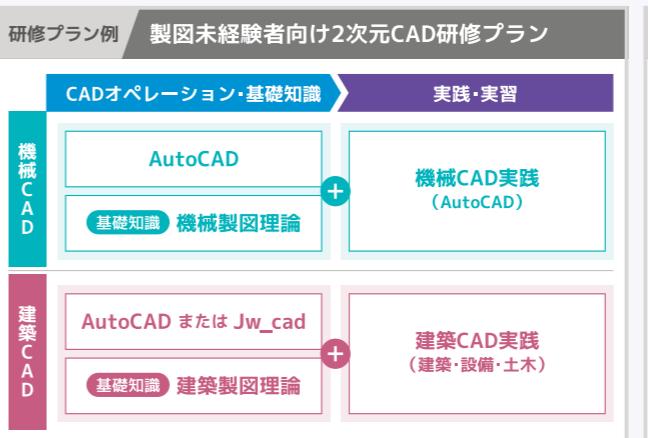
現場業務に即した実践課題で即戦力を育成

多数の研修で培ったノウハウをもとに、現場での業務に即した実践課題をご用意しています。CADソフトの基本研修と組み合わせて、より実践的なスキルまで習得可能です。

貴社のご要望に応じたオリジナル実践演習課題もご提供いたします

組み合わせ プランの特長

企業からの要望によって作られた演習課題を用いた実習を中心とした研修カリキュラムです。CADソフトによる作図スキルを格段に向上させ、図面に対する理解を深めることができます。



CADスキルの評価やモチベーション向上に最適な各種検定試験も対応

各種検定試験への挑戦は、受講者のモチベーション向上や研修で身についたスキルを客観的に評価するために最適です。

機械 CAD

- 2次元CAD利用技術者試験対策(1級・2級)
- 3次元CAD利用技術者試験対策(1級・2級)

建築 CAD

- 建築CAD検定

» 研修のご相談・ご依頼

貴社に合わせた研修プランの作成が可能です。お気軽にご相談ください。



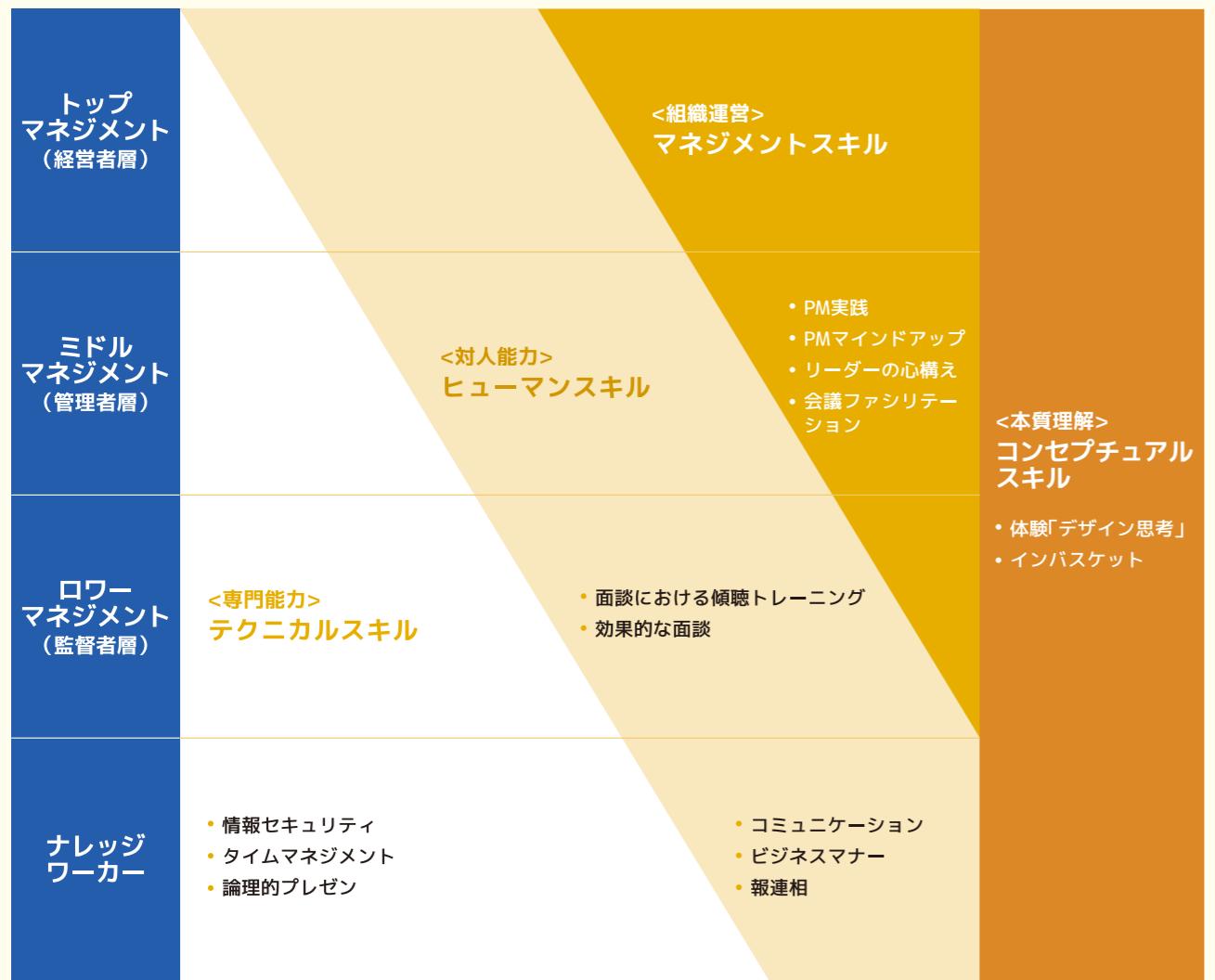


エンジニア・DX推進担当者に最適な研修をご提案 ヒューマンスキル研修

延べ2万人以上のエンジニアを育成する当社では、技術研修の他にヒューマン・ビジネススキル研修もご用意。新入社員研修から既存社員の階層別研修まで、技術的なスキル構築と組み合わせて最適な研修プランをご提案いたします。

ドラッカーモデルをベースに構築した研修構造

ドラッカーモデルに基づいた研修プログラムは、経営者から現場のメンバーまでそれぞれの役割に応じたスキルを体系的に強化します。技術とヒューマンスキルのバランスを最適化し、実務に直結する成果を実現します。



技術スキルからヒューマンスキルまでを一気通貫で提供

DXやリスキリングなど、現代の企業戦略を推進するためには技術スキルだけでなくヒューマン・ビジネススキルを統合したアプローチが欠かせません。多くのエンジニアに研修を提供する中で蓄積したノウハウで、技術とヒューマンスキルを組み合わせた最適な研修をご提案します。



貴社課題に寄り添った研修コンセプトの構築フロー

ヒューマン・ビジネススキルは習得すべき内容が明確な技術スキルとは異なり、企業課題や事業戦略、企業風土などで求められるものが大きく異なります。

当社では貴社の課題にもとづく現状分析から、最適な研修コンセプトを構築いたします。



» 研修のご相談・ご依頼

貴社に合わせた研修プランの作成が可能です。お気軽にご相談ください。





全社的なIT・デジタルリテラシー向上に 事務スキル・Office研修

DX推進を加速するためには推進担当者の育成に加え、全社的なIT・デジタルリテラシーの向上が不可欠です。当社の事務スキル・Office研修分野では、ITリテラシーの基礎から普段使いのOfficeアプリスキルをさらに向上させるための研修まで、幅広くご提案いたします。

Office製品を活用したIT人材育成マトリクス

Office製品を活用した全社的なIT・デジタルリテラシーの向上を促す人材育成マトリクスをご用意。貴社に最適な人材育成プランをご提案いたします。

活用レベル	業務品質向上 社内コミュニケーション活性化	業務効率化・ 生産性向上	データ分析・ 利活用	ITリテラシー マインドセット
Lv 3 活用する	Excel応用 Word応用 PowerPoint応用	Power Automate Desktop Excelマクロ・VBA	Excelビジネスデータ分析 Power BI Desktop	プロジェクトマネジメント
Lv 2 使ってみる	Excel基礎 Word基礎 PowerPoint基礎	生成AI (Copilot)		インバスケット
Lv 1 知る・調べる	Teams SharePoint			ITリテラシー基礎 DX導入

短期速習の研修も実現！カスタマイズ可能なOfficeアプリ研修

Word、Excel、PowerPointの基礎から応用までの研修カリキュラムを細分化し、業務内容や研修参加者のスキルに応じてカリキュラム項目を組み合わせて研修を構築できるプランです。

テーマごとに組み合わせ可能な研修カリキュラム概要

Excel カリキュラム項目	目安時間	Word カリキュラム項目	目安時間	PowerPoint カリキュラム項目	目安時間
Excel の基本操作	1h	Word の基本操作	1h	プレゼンテーションを学ぶ	0.5h
書式を工夫してわかりやすい表を作る	1.5h	Word の機能を使ったビジネス文書作成	1.5h	見やすいスライドを作る	2h
基本の関数を使いこなす	1.5h	表を利用したわかりやすい文書の作成	1.5h	魅力的に仕上げる	2.5h
すぐに仕事に使える関数を使いこなす	2.5h	図と描画機能を使った魅力的な文書作成	2h	発表に向けてしっかり準備	1.5h
グラフ機能で分析結果を表現する	2h	アウトラインを使った長文作成と管理	2h		
データベース機能を活用する	1.5h				
応用的な集計機能を使いこなす	2h				
Excelをもっと効率化させる応用機能	1.5h				
Word・Excelの特性を活かす	1.5h				
Word・Excelの連携	2h				

研修ご利用企業様の声

事務社員のITスキル不足がかねてよりの課題でしたが、まとまった研修の時間も取れず苦心していました。そんな中で、弊社の業務内容に合わせて最適なカリキュラムを組み合わせていただき、また短期間での研修ができた点にとても満足しています。

運輸業 人事担当者様



デザイン内製化・デザイナー人材育成に最適 Web・デザイン研修

DX推進が加速する中、販促物や自社HPの制作・管理を内製化して行う企業が増加しています。当社のWeb・デザイン分野の研修カリキュラムは、デザインの基礎だけでなく、Webサイト構築や映像デザインまで幅広く網羅しています。

あらゆるデザイン制作を網羅したカリキュラムをご提供

フライヤーやパンフレットといった紙媒体の販促物から、Webサイトの構築・更新、企業PRビデオの作成といった動画編集技術まで、あらゆるデザイン制作を網羅したカリキュラムをご用意しております。



理論・基礎知識

デザイン制作業務に求められるレイアウトや文字組、色彩といった基礎知識を習得できるカリキュラムをご用意しています。

研修講座

デザイン理論 色彩理論



グラフィック・UI/UXデザイン

各種販促物やWebサイトのUIデザインの制作実習を通して、IllustratorやPhotoshopといったデザインツールの活用手法を習得します。

研修講座

Illustrator Photoshop
InDesign Figma & UI/UXデザイン



Webサイト構築

Webサイトの制作実習を通して、HTMLやCSSといったサイト構築言語からPHP、WordPressなどのWebシステム構築まで習得できます。

研修講座

HTML&CSS・レスポンシブデザイン JavaScript & jQuery
PHP / Laravel WordPressテーマ&プラグイン実践



動画編集・映像デザイン

Premiere ProやAfter Effectsといった映像制作ツールを用いて、商品や企業のPR動画などを制作できる技術や知識を体系的に習得できます。

研修講座

Premiere Pro / YouTube動画制作実習 After Effects



» 研修のご相談・ご依頼

貴社に合わせた研修プランの作成が可能です。お気軽にご相談ください。

時間・場所・規模を選ばず、貴社の要望に柔軟に対応できる
多彩な研修スタイル

集合研修・講師派遣はもちろん、お一人からでも実施可能な個別レッスンもご用意しています。
ほとんどの研修がオンライン実施にも対応し、複数の研修スタイルを組み合わせてご利用いただけます。
時間や場所、受講者規模を選び、最適な研修を実施していただくことができます。



**集合研修・
講師派遣**

オンライン
実施可

オリジナル研修もご対応可能

「集合研修・講師派遣」の研修スタイルでは、当社がご用意する研修カリキュラムだけでなく、ご要望に応じて貴社オリジナルの研修カリキュラムもご対応可能です。
また、研修施設への講師派遣だけでなく、オンラインによる研修も対応可能です。



**個別
レッスン**

オンライン
実施可

一人からでも研修実施が可能

「個別レッスン」スタイルでは、全国のWinスクール教室またはオンラインで、お一人からでも研修実施が可能です。受講者一人ひとりのスキルレベルや理解度に合わせた指導を行います。受講日程も隨時ご予約可能なため、小規模な研修に最適です。



こんな企業様におすすめ

POINT

受講者5名以上の中～大規模研修を検討している



**カスタマイズ自由な
研修カリキュラム**

同時に同スキル・同レベルの研修を実施したい(新入社員研修など)



カリキュラム内容をカスタマイズした研修を実施したい



**実務に精通した
プロ講師による指導**

スキルや研修目的に応じて、日時・場所・カリキュラムなど、柔軟な組み替えが可能です。



**実務に精通した
プロ講師による指導**

実務で求められる知識や技術を持つ、企業研修に従事するプロの講師が指導いたします。



**全国各地へ
講師の派遣も可能**

全国の拠点から、ご希望の場所へ講師を派遣。移動時間や交通費を抑えたご提案も可能です。



**大人数研修で
コスト削減**

研修費用は講師1名あたりで設定されるため、大人数研修でコスト削減ができます。

こんな企業様におすすめ

POINT

受講者5名未満の小規模研修を検討している



受講者の業務内容やスキルレベルにバラつきがある



受講者ごとに研修開始時期や期間をずらしたい



**1名からの
受講が可能**

受講者ごとに日程や内容を変更することが可能。きめ細やかな指導が行えます。



**受講者に合わせた
自由予約制**

随時受講が可能な自由予約制のため、業務都合に合わせて受講日を調整できます。



**一人ひとりのレベルに
合わせた指導**

少人数制の個別レッスンで、それぞれの進歩に合わせてサポートいたします。



**機材の貸し出しが
可能**

ソフトインストール済みのPCを貸し出しうるサービスもご用意しております。

オンライン研修

集合研修・講師派遣、個別レッスンのいずれも対応

どの研修形態においても、ほとんどのカリキュラムでオンラインによる研修を実施することができます。研修に必要な機材やソフトウェアのご準備が難しい場合も当社にてご用意いたします。

ご要望に応じて、オンラインと対面を組み合わせた研修プランも対応いたします。



POINT



年間400社
3,500人以上が利用

多くのオンライン研修で培ったノウハウで、対面と変わらないクオリティの研修を実施します。



対象研修講座が約300種以上

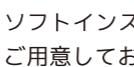
Officeソフト、プログラミング、CAD設計、Web・デザイン分野など、幅広く対応します。



リアルタイム&ハンズオンによる
研修実施



機材の貸し出しが可能



ソフトインストール済みのPCを貸し出しどけるサービスもご用意しております。

eラーニング

技術系コンテンツを豊富にご用意

技術系の知識が習得できるeラーニングコンテンツを多数ご用意しています。eラーニング単体での受講だけでなく、研修前の予備知識の習得や研修後の知識の定着に、集合研修や個別レッスンと組み合わせてご利用いただくことも可能です。スキマ時間を活用した研修プランもご提案いたします。



主なeラーニングコンテンツ

DXリテラシー標準(DSS-L) / IT/パスポート試験対策 / 情報セキュリティマネジメント試験対策 / Webシステム基礎概論 / 工業数学基礎 / 機械設計&製図理論 / 設計者CAEの基礎知識 / 電気電子基礎 / パワーエレクトロニクス基礎 / データサイエンス基礎・応用 / クラウドコンピューティング概論 / プロジェクトマネジメント基礎 / 品質管理基礎(QC検定®3級対応) etc

研修スタイル 組み合わせ事例

新卒研修に最適、研修効果を最大化する

どの研修形態においても、ほとんどのカリキュラムでオンラインによる研修を実施することができます。研修に必要な機材やソフトウェアのご準備が難しい場合も、当社にてご用意いたします。ご要望に応じて、オンラインと対面を組み合わせた研修プランも対応いたします。

事前の知識習得から研修後のフォローアップまでを一気通貫で対応



■ eラーニングによる事前学習

本研修の参加に必要な基礎的な知識の習得は、受講者にeラーニングコンテンツを事前に配布して対応。リテラシーレベルを全体的に押し上げ、研修導入時のスキル格差によるモチベーションの低下を防ぐことが可能になります。



■ 集合研修による研修の実施

貴社研修施設などで研修を実施します。事前の基礎知識はeラーニングで習得済みのため、座学的な学習より実践的な実習ベースの研修の割合を多く取り入れます。即戦力となる技術を短期間で習得することが可能です。



■ 個別レッスンによる研修後のフォローアップ

研修後に目標に到達しきれなかった受講者に対して個別レッスンでのフォローアップが可能です。対象となる受講者一人ひとりのウィークポイントに合わせてレッスンを実施し、すべての受講者を目標に到達させることも可能です。



研修ご利用企業様の声

新卒研修で、研修前の知識の平準化から研修後の個別のフォローアップまで、一貫して対応していただけて満足しています。

これまで、研修後は各地域に配属してしまうため個々への対応が難しかったのですが、オンラインで個別にフォローしていただき、非常に高い研修効果が得られたと思っています。

システム制作会社 人事ご担当者様



人材開発支援助成金を活用して、研修コストを抑える

人材開発支援助成金

人材開発支援助成金とは、企業が従業員のスキルアップを目的に実施する研修に対し、研修費用や賃金の一部を国が助成する制度です。



助成金活用のメリット

MERIT 1	MERIT 2	MERIT 3
DX・スキルアップを助成金で推進	研修費用の最大70%が助成	研修期間中の賃金も一部支給
※事業展開等リスクリキング支援コースの場合、研修総額の最大約70% ※賃金支給は1時間あたり500円(中小企業の場合 2025年4月現在)		

助成金の種類

事業展開等リスクリキング支援コース	正社員向け人材育成支援コース	非正規社員向け人材育成支援コース
DX研修、新規事業展開向け研修に	既存社員のスキルアップ研修に	有期雇用者のスキルアップ研修に
経費助成	経費助成	経費助成
研修費用 × 75% (60%)	研修費用 × 45% (30%)	研修費用 × 70%
賃金助成	賃金助成	賃金助成
1時間あたり 1,000円 (500円) × 所定労働時間に受講した時間数	1時間あたり 800円 (400円) × 所定労働時間に受講した時間数	1時間あたり 800円 (400円) × 所定労働時間に受講した時間数

※記載の助成率・金額は中小企業の場合です。()内は大企業での適用時の助成額・助成率です。

対象となる研修

・ DX推進人材育成研修	・ ネットワーク・クラウド研修	・ ヒューマンスキル研修
・ 事務スキル・Office研修	・ 機械設計・機械CAD研修	・ Web・デザイン研修
・ IT・プログラミング研修	・ 建築・設備・土木CAD研修	・ 映像制作・動画編集研修

助成金活用事例

Excel + データ分析 & Power BI 速習プラン

Excelの基本から応用操作、データ分析技法・Power BIを使った可視化手法までを網羅的に学習する講座です。短期間で集中的に研修を受けたいという企業様におすすめのプランです。

70%
還付

通常の研修費用	事業展開等リスクリキング支援コースを利用した際の研修費用
研修費用 1名あたり 37,400円 (税込)	助成額(経費助成・賃金助成) 568,800円
受講人数 20名(集合研修・オンライン)	実質負担額 179,200円
研修時間 12時間(6時間×2日間)	1名あたりの費用 8,960円 (税込) <small>※2</small>
費用総額 748,000円 (税込) <small>※1</small>	

※1:講師数2名の場合です、受講費用は研修形式・講師数・場所によって変動します。 ※2:助成額は大企業での計算例です。

研修ご利用企業様の声

コストを抑えて濃密な研修が実現できました。

限られた予算内で、会社の課題にピッタリ合った研修を提供していただきました。受講者からも『内容が充実しており、すぐに仕事に活かせる!』と好評で、大変満足しています。

製造業 ご担当者様 (対象者:バックオフィススタッフ向け)



助成金申請の流れ

助成金の利用は、労働局へ事前の研修計画の提出が必要です。

労働局への訓練計画書の提出は、研修開始の前日より起算して1か月前までです。



助成金申請アシスト+(プラス) 助成金申請サポート

助成金申請アシスト+(プラス)は、当社で研修実施の企業様を対象に、提携の社労士事務所が助成金の申請を完全代行する有料サービスです。

※受給された助成金額の最大30%+税が手数料となります。

POINT 1	POINT 2	POINT 3	POINT 4
面倒な申請の準備を完全代行 申請書類の準備から労働局への申請手続きまで、プロが完全代行いたします。	日本中どこでも対応可能 東京・大阪・神戸の拠点から、オンラインで全国どこでも対応いたします。	申請についての相談無料 専門家との相談は無料です。どんな小さな疑問でもお気軽にお相談ください。	安心のオンラインサポート 長期間にわたる場合でも、オンラインでいつでも迅速にサポートいたします。

研修事例のご紹介

CASE1 マツダ株式会社

EV化に向けたリスクル研修

「パワーエレクトロニクス技術者育成研修」



Q.どのような経緯で研修を企画することになりましたか？



弊社は2030年までを「電動化の黎明期」と捉え、2030経営方針のもと、多様化するお客様ニーズや環境規制に柔軟に対応すべくマルチソリューションで電動化を進めます。これを遅滞なく進め、お客様に高付加価値の車を提供し続けるには、これまでの開発を通して車を熟知するエンジニアが電動化の知識・技術も手の内に収めるリスクリングが重要と考えています。これは一朝一夕ではできません。電動化技術のスペシャリストとのOJTを通して電動化エンジニアとして飛躍する必要があります。そのために必要な知識・スキルを早期に習得する機会を提供し、電動化エンジニアへの道を開く、そのような教育・研修が求められています。

Q.人材育成に関するこれまでの取り組みや、考え方、今後の展望について

100年に一度の変革期と言われるように、企業の在り方、組織の在り方、個人の在り方が目まぐるしく変化している中で、求められる能力の育成を弊社内の人材やカリキュラムで対応するのは困難な状況です。そのため、社外の各分野において強みを持つ企業様、大学様、行政機関様のご支援を賜りつつ、人材育成を実施しております。教育を実施し、スピード感をもって組織運営・開発の成果につなげていくことが今後も継続して求められます。したがって、社外の方々との連携による人材育成の重要性はますます増していくと考えております。

Q.弊社の研修を採用していただいた理由は？



非電気系エンジニアを主要な受講対象と想定し、電動化に必要な技術知識の習得を入門、基礎、初級レベル毎に段階的に進めたいという弊社要望がありました。それに対し御社からのご提案は、e-learning、オンライン講座、実習講座というレベルに応じた研修形態で、弊社が望む内容をカバーできると感じました。実際、少人数でトライアル受講を行い、期待通りであることを確認しました。また、弊社の受講対象者に応じて内容を調整いただけることから、御社の研修を選ばせていただきました。



開発管理部R&D人材開発グループ
横山 マネージャー



ご提案内容

パワーエレクトロニクス分野の人材育成を目的とした総合的な教育プログラムをご提案。研修の過程では、受講進捗・アンケートの収集・分析を行い、受講状況を可視化。これにより、個々の習熟度把握と今後の育成施策立案にもつながる仕組みをご提案しました。

研修名 パワーエレクトロニクス技術者育成研修

日数 10日間

カリキュラム パワーエレクトロニクス 入門 / パワーエレクトロニクス講義編(ブラシレスDCモータのインバータ制御技術) / 学習用電子基板とブラシレスDCモータを使った実機実習(オシロスコープ使用)

研修効果 Q.本研修で当初の目的は達成できましたでしょうか？



開発管理部R&D人材開発グループ
佐藤 様

目標は達成できたと思います。今回の研修は、多くの受講者にとって期待通りの内容であり、現在の業務に活かせる知識・スキルを提供できたと感じています。特に実機演習については、教育内容の理解を深める重要な要素として認識されています。短期間で基礎的なPWMの理解ができたことに対するコメントや、電動駆動領域での開発要件やテスト項目、手順等の講習をさらに希望する意見もあり、今後の研修のアップデートにも期待したいです。

Q.実業務への効果はありましたか？

はい、企画段階から狙いとしていた効果はあったと考えています。前年の受講者に対し、1年後の現在、業務への活用に関するアンケートを行いました。その結果、電動化開発に携わる多くの受講者から「業務に活かしている」との回答がありました。その中で「業務で、関連メンバー(電動化技術のスペシャリスト等)との打合せの中で、話の内容の理解の助けになっている」、「駆動モータ制御設計の業務において基本の知識として普段から活用している」等のコメントがありました。

受講者の声 Q.研修を受講してプラスになったことはありましたか？

実際にモノを触りながら学ぶことで、設計担当者や実験担当者にかかわらず役立つスキルを身につけることができると思います。最近では多くのことがバーチャルで行われる時代ですが、エンジニアの基本はモノを触って学ぶことが重要だと再認識しました。特に、電動駆動の実機での実験は電圧・電流が高くて非常に危険ですが、実習では小型の装置を使うことで、仮説の検証を安全に行える点が有益でした。難易度もちょうど良く、教育内容も期待以上でした。多くの演習を通じて理解が深まり、エンジニアにとって非常に価値のある研修で、今後の業務に大いに役立つと確信しています。



電気駆動システム開発部
瀬戸 様

■ その他研修事例

CASE2 DXリテラシー標準 × 生成AI研修

企業名 小松鋼機株式会社 日数 2日間

カリキュラム ビジネスとDX / DXリテラシー標準(マインド・スタンス / Why / What / How) / AIの進化と生成AI / ビジネスで生成AIを活用するためのポイント / 生成AIの技術 / サービスの利用



CASE3 PowerApps社内浸透研修

企業名 四国溶材株式会社 日数 2日間

カリキュラム 画面構成 / コントロール / プロパティ / 画面遷移処理 / 主要な関数

CASE4 Revit実践研修

企業名 スター総合建設株式会社 日数 8日間

カリキュラム BIM概論 / 2Dデータ作成 / 3Dモデリング / ファミリ / 図面化 / パラメータ設定 / レンダリング

» 研修のご相談・ご依頼

貴社に合わせた研修プランの作成が可能です。お気軽にご相談ください。



企業向け研修のご提案

人材育成プランの立案から実現までの流れ

STEP 1

ヒアリングと目標設定

事業戦略や課題をヒアリングし、必要なスキルセットを特定します。
(例: DX推進に必要なデータ分析力の強化など)



「研修内容について詳しく知りたい」

「研修に助成金を活用できるか相談したい」

「企業向けの研修プランを相談したい」

STEP 2

現状把握と人材育成プランの立案

研修前にスキルチェックテストを実施。現在のスキルレベルを分析し、各受講者に最適な学習計画を作成します。



お電話でのお問い合わせ

フリーダイヤル **0120-20-9829**

受付: 平日9:00~18:00



メールでのお問い合わせ

houjin@winschool.jp



Webからのお問い合わせ

https://www.winschool.jp/corporate/contact_corp/



STEP 3

研修計画の具体化

受講形式(オンラインまたは対面)、受講時間、カリキュラムを決定し、企業ごとのニーズに合わせてカスタマイズしてご提案いたします。



STEP 4

研修実施と効果測定

研修後に理解度テストを実施し、受講者の習得度を評価。必要に応じて追加フォローいたします。



STEP 5

研修後のフォローアップ

研修後も学習サポートを継続し、追加質問対応やフォローアップ研修を実施します。
また、実際の業務での活用事例を共有し、定着化を支援します。

